社会に満足を。

バリューチェーンの変革による新しいビジネスモデルの創造

バリューチェーン全体を見渡す視点で、自社のみならず社会全体の効率性も追求し、新たな価値をつくり出していきます。組織を越えて現状の課題を共有し、グループ各社が連携することで、これまでにない観点で社会課題への解決策や仕組みを提案し、社会最適を実現します。

1 スマート事業によるモノ・サービスの最適な提供

プラス株式会社 ジョイントテックスカンパニーは、全国の文具事務用品や教材等の販売店との協働により、カタログ通販に専任営業サポートが付いたデリバリーサービスとして、法人・官公庁向けの「スマートオフィス」、学校・保育現場向けの「スマートスクール」、介護・福祉現場向けの「スマート介護」を展開しています。従来のオフィスに留まらないさまざまな「職場」に必要なモノ・サービスをワンストップでご提供し、「職場」の調達業務効率化をサポートしています。

smartoffice
（2003年開始）

文具事務用品を中心とした1,000万以上のアイテムをインターネット等でご注文いただき、最短翌日に直接オフィスへお届けしています。2022年からは、全国約1,800か所の地方公共団体を対象とした「スマートガバメント」を開始。特有の発注体制に対応したWebシステムを構築し、手軽な注文を実現しています。

smartschool
（1997年開始）

多忙な小・中学校の教員の方々を対象に、授業で使う教材・教具をお届けする「smartschool for TEACHERS」を2021年から開始。教材カタログから商品を選び、自治体の入札やメーカーの在庫確認を経て納品される従来の調達方法とは異なり、Webサイトからリアルタイムな在庫数が確認でき、最短翌日に商品を受け取ることができます。

介護・福祉施設向け通販
スマート介護
（2014年開始）

国の介護・福祉施設を対象に、提携する文具事務用品店や介護・医療用品の販売企業と協働し、物品の調達や経営サポート等のサービスを提供。多忙な介護・福祉施設のスタッフの方々の時間・労力の削減を支援しています。2022年9月現在、37,000以上の施設で採用いただいています。

2 業態変革による調達・物流業務の最適化

妙高コーポレーション株式会社では、これまで、幅広い小売店舗の顧客層と広域展開している営業拠点を活かして収集した豊富なデータをさまざまな角度から分析することで、市場動向に合わせた店頭支援提案を実施してきました。また、新たに物流課題解決型の新規事業開発を立ち上げ、小売チェーン店舗運営における物流の“ムダ・ムリ・ムラ”の効率化を目指すディストリビューションセンターの事業化にチャレンジしています。

また、大平紙業株式会社では、一人ひとりのユーザーにとってベストな「生活楽観商品」を世界中から探し出し提供することで、「業種卸」から「業態卸」への変革に取り組んでいます。

3 購買管理プラットフォームでのDX化加速

ビズネット株式会社では、企業や仕入先の発注・受注に関する業務全般を改善するシステムソリューションの提供によって、企業の購買活動のDX化を推進します。また、購買・請求業務のE2E(End-to-End)のデジタル化によって、モノ・サービスだけでなく情報を通してお客様への快適体験を提供するため、アナログな業務内容をデジタル変換し、これまでにない新しい価値を創出していきます。具体的には、購買管理プラットフォームをお客様企業の会計システムと連携させることにより、受発注のみならず請求・支払い等の後工程も含めてE2EでDX化を支援します。これにより、省人化・業務効率化を実現するとともに、ペーパーレス・省資源を推進する環境に優しい仕組みを提供し、社会に貢献していきます。